

東京都支部だより

— 東京都透析医会の設立と活動のご報告 —

安藤亮一

東京都透析医会が2018年1月20日に日本透析医会の東京都支部として設立されたことを報告いたします。

東京都には、435の透析施設があり、32,154人の透析患者がいます（2017年末現在）。東京都に透析医の集まりはなかったかという点、従来から、東京23区を対象にした東京透析研究会（秋澤忠男代表幹事、旧東京透析懇談会）と、多摩地区を対象にした一般社団法人三多摩腎疾患治療医会（要伸也理事長）といういずれも歴史ある研究会が、それぞれの地域で学術活動を担っていました。

また、東京都の災害時情報ネットワークとしては、区部では東京都区部災害時透析医療ネットワーク（酒井謙代表世話人、菊地勘代表世話人）が、多摩地区では、前述の三多摩腎疾患治療医会の災害ネットワーク（要伸也理事長、杉崎弘章災害対策委員長）があり、それぞれ基盤もしっかりと構築されています。

今回、災害対策や保険医療の適正化をはじめとして、東京透析研究会、東京都区部災害時透析医療ネットワークと三多摩腎疾患治療医会の連携・調整・窓口としての機能を果たし、東京都の透析医療に貢献するという趣旨で、東京透析研究会および三多摩腎疾患治療医会から了承をいただき、本年1月20日に日本透析医会東京都支部として、東京都透析医会が設立されました。設立時の役員は表1にあるとおりです。

前述した設立の主要な目的である災害対策を推進するために、2018年5月、委員長に東京女子医科大学腎臓病総合医療センターの花房規男先生、担当幹事に下落合クリニック菊地勘先生になっていただき、東京都区部災害時透析医療ネットワーク、三多摩腎疾患治療医会、東京都臨床工学技士会から委員に参加いただき、災害対策委員会を設置しました。本年からは、腎不全看護学会、認

表1 東京都透析医会役員

会 長	安藤亮一
副会長	菅野義彦
幹 事	岡戸丈和、角田隆俊、菊池 勘、久野 勉 酒井 謙、杉崎健太郎、花房規男、前田国見 横山啓太郎 大坪 茂（事務局）
監 事	要 伸也
顧 問	相川 厚、秋澤忠男、秋葉 隆、佐中 孜、 杉崎弘章、篠田俊雄、多川 齊

表 2 東京都透析医会の歩み

2018/1/20	第 1 回幹事会, 第 1 回講演会, 明治記念館 1F「曙の間」.
2018/2/18	第 2 回幹事会 (臨時幹事会), 東京女子医科大学弥生講堂地下 1 階「D room」.
2018/4/26	関東臨床工学技士協議会と災害伝達訓練の共催.
2018/4/29	東京都透析医会災害対策委員会の設置.
2018/6/29	日本透析医会第 19 回災害時情報ネットワーク会議, 支部長会, 第 23 回透析保険審査委員懇談会に参加.
2018/9/2	第 1 回東京都透析災害対策セミナーを東京都区部災害時ネットワーク, 三多摩腎疾患治療医会, 東京都臨床工学技士会と共催. TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター 7 階「ホール 7」.
2019/1/12	第 3 回幹事会, 第 2 回講演会, 第 1 回総会, 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター 2F「sola city Hall」.
2019/4/24~4/25	関東臨床工学技士協議会と災害伝達訓練の共催.

災害対策委員会としての活動は本号掲載の「東京都の災害対策医療の現状」を参照されたい.

定看護師の委員も加わっていただきました。災害対策委員会では、東京都が発行している「災害時における透析医療活動マニュアル」の見直し、Google マップを基本に災害時透析における緊急時透析情報共有マッピングシステム Tokyo DIEMAS の運用を開始しました。このシステムは、視覚的に透析施設の位置関係が一目瞭然でわかり、施設情報を登録いただき、災害時における連携に有用となるように工夫されています。

東京都の透析施設の代表・窓口となる組織を設立したことにより、東京都福祉保健局、東京都水道局、東京電力との会合を持ち、災害に備えた行政やインフラとのパイプを作ることができました。さらに、埼玉県、群馬県、栃木県と合同で災害時透析を検討する連携の会を持つことができました。今後は、神奈川県、千葉県とも連携し、広域の災害時透析連携ネットワークを確立することが今後の課題です。

東京都透析医会としてのこれまでの活動は、表 2 にあるとおりです。

東京都透析医会では、前述した災害対策事業のほかに、日本透析医会の保険審査委員懇談会への参加、透析医療に関する教育講演を年次講演会にて行っております。さらに最近問題となっている透析液排液問題への対応なども計画しています。

日本の透析施設の約 1 割、透析患者の約 1 割が集積している東京での東京都透析医会の設立は東京都における災害時透析医療の確保、透析医療の維持・発展の面でも大変意義が大きいと考えられます。まだ、設立して 1 年あまりで、会員数も十分とはいえ、財政的基盤も不十分ですが、関連する諸団体のご支援をよろしく願いいたします。